

※一部非公開

令和5年度入学試験問題（後期日程）

小論文

国際地域創造学部 国際地域創造学科

（昼間主コース・夜間主コース）

注意事項

1. 受験番号を解答用紙の所定の欄に記入すること。
2. 解答は、必ず解答用紙に記入すること。
3. 解答用紙の他に、下書き用紙を配付するので、取り違えないよう注意すること。
4. 解答時間は、120分である。
5. 横書き、鉛筆（シャープペンシルを含む）書きにすること。

問 題

以下は朱子学研究を専門とする著者が創作と研究について述べたものである。
文章を読み、問いに答えよ。

非公開

非公開

非公開

(垣内景子「朱子学研究の課題」、土田健次郎編、『近世儒学研究の方法と課題』、汲古書院、2006年、36~42ページ、抜粋・一部改変)

注1)中国南宋の儒学者。朱子と尊称され、宋代の儒学の成果を整理し論理一貫する体系的学術として集大成したことで知られる。本文中に再三される「理」は、その学説の中心をなす。

注2)ある概念の適用される具体物の総称。「動物」なる概念を考えるならば「ヒト」「イヌ」「ワニ」「ハチ」「カニ」…などがその外延に当たる。

問1 著者の考える「理」とはいかなるものか、500字以上600字以内で述べよ。

問2 あなたは「理」という言葉について、いかなるものであると考えるか。著者の主張に対し賛成するか、反対するか、そのどちらでもないかを明記し、具体的な事例を挙げつつ500字以上600字以内で述べよ。

令和5年度入学試験問題（後期日程）

小論文

国際地域創造学部 国際地域創造学科

（昼間主コース・夜間主コース）

出題の意図

この問題は、本学部が掲げるアドミッション・ポリシーの内、主として「地域の文化・社会について多様な学問的見地から興味を持ち、主体性をもって課題に取り組み、そしてより良い課題解決のために様々な立場の人々と意見を交換しつつ実行することができる」「21世紀型市民として必要な学際的教養を身につける意欲を持ち、他者や異文化の持つ多様な価値観に対して柔軟な態度を身につけている」に関連する素養を評価することを意図している。

本問題の採用する文章は、朱子学における「理」を主題としながらも、広く「正しさ」「妥当性」に関し議論を行い、更にこれに対応する形で「私」の「創作」を論ずるものであり、多様な価値観に接するに当たりいかに相互理解を深め、主体的に選択し、課題解決のための「理」を求めるべく柔軟な態度と意欲とを以て意見を交換できるかを問うに好適と考えられる。かような前提を踏まえ、問1では他者の主張に対する正確な理解を、問2ではこれに対して自らの意見を好悪に訴えず是非の判断により表明する能力を、各々測る。この両問を以て上記の素養の評価を試みるのである。